

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番}

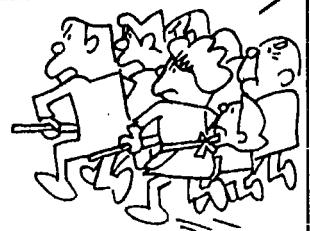


# 日動労千葉

93.11.12 No. 3891

# 11・21 全国集会!

つぶせ小選挙区制・政党法  
許すな憲法改悪



# 細川政権をひいち倒そう 弱者・貧困者・農民...そして労働者切っ掛け

全く、五十数年前と同じような空氣になりつつあります。小選挙区比例代表並立制、政党助成法などの動きは、一億二千万人の総保守化(憲法改悪)につながります。消費税の引き上げはその財源づくりです。おそろしいことです。

(日本大学法学部教授) 北野 弘久 氏

細川政権は、社会党を抱き込み「改革」とか「変革」という耳ざわりのいい看板をかかげ自民党よりはましめの政権であるかのようないい幻想を持たせながら、実際にはとてもない反動的諸政策を人民大衆におしつける最も危険な内閣であることが日を追うごとに明らかになってしまっている。

前述の北野教授も述べているように“おそ

ろしい”政権である。過去の侵略について口では「謝罪」しながら、実際には自衛隊法を改悪し、PKO派兵を無制限に拡大しようとしているし、コメ凶作を逆手にとつて輸入自由化・農民切り捨てを平然とやろうとしているのが細川政権の実態である。

そして、なによりも戦後最悪の反動法案である小選挙区制・政党法を强行採決にうつたとしても導入しようというのである。自民党ですらできなかつたことを幻想のつづいているうちにドシドシやつてしまおうという極悪内閣である。

そのことを今多くの労働者や文化人、学者

等が気づきはじめている。11・21集会に多くの人が賛同を寄せてきていることにもそのことは言えるのである。

行政「改革」、経済「改革」の名の下に大増税、首切、弱者切捨が吹き荒れようとしている。一例をあげれば「規制緩和」は、大資本の経済活動を勝手ままに行えるようにするというものであり、その結果「最低二二〇万人が失業においやられる」、「東洋経済」

より」といわれているのである。

その他、年金制度の改悪、消費税率アップなど増税と独裁政治、そして戦争の出来る國家体制の確立こそが細川・小沢政権の本質であることをはつきりと見抜かなければならぬ。それに加担する社会党、なによりも連合は断じて許せるものでない。

今こそ怒りを行動へ。一人ひとりの結集こそが反動を断つ道。

全支部は、全力結集の実現のため奮闘しよう。



千葉駅 ⑨番線 10時59分発 快速逗子行き  
(1034F) 最後部乗車のこと

指定列車・

反対・運転保安確立! 反戦・反核を担う労働運動を!